

# 会社説明資料



おかげさまで50周年  
Since 1968

## 株式会社アルプス技研 2018年12月期 第2四半期

— 東京証券取引所市場第一部 証券コード：4641 —

開発・設計の高度技術者集団

# 説明のポイント

【2018年度 第2四半期決算概況】 P3～P10

連結：社員数増加により増収増益達成

個別：人数・単価UPが工数減吸収し業績を牽引

【2018年度 連結・個別施策】 P11～P12

次世代(第2創業期)を創る施策 推進

【2018年度 新会社・業績・配当予想】 P13～P17

アグリ&ケア設立/業績更新に向け注力

【中期経営計画】 P18～P22

- ・ 第11次5ヵ年計画がスタートし定性目標を更新
- ・ 創業50周年記念事業、第2創業期の強み創出

- ・研究開発投資は過去最高水準
- ・高度技術者の需要は引き続き旺盛

製造業界

輸出動向

持ち直し

自動車業界動向

次世代車向けの  
R&D投資増加

人材業界

派遣要請

高稼働率維持  
需給逼迫

人材獲得競争

採用手法の多様化に伴い、  
新卒・キャリア採用  
ともに競争激化

# ■ 2018年第2四半期 決算概況

- ・連結/社員数堅調に伸び、増収増益達成
- ・個別/稼働人数、単価が着実に向上し寄与

(単位：百万円)

| 【連結】                 | 2017年12月期<br>第2四半期 | 2018年12月期<br>第2四半期 | 増減率    |
|----------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 売上高                  | 14, 516            | <b>15,728</b>      | 8. 3%  |
| 営業利益                 | 1, 433             | <b>1,638</b>       | 14. 2% |
| 経常利益                 | 1, 438             | <b>1,661</b>       | 15. 5% |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 907                | <b>1,245</b>       | 37. 2% |

(単位：百万円)

| 【個別】   | 2017年12月期<br>第2四半期 | 2018年12月期<br>第2四半期 | 増減率    |
|--------|--------------------|--------------------|--------|
| 売上高    | 12, 157            | <b>13,232</b>      | 8. 8%  |
| 営業利益   | 1, 324             | <b>1,480</b>       | 11. 7% |
| 経常利益   | 1, 481             | <b>1,653</b>       | 11. 6% |
| 四半期純利益 | 1, 013             | <b>1,295</b>       | 27. 8% |

# 営業利益率は10.4%で着地

(単位：百万円)

| 【連結】                 | 2017年12月期<br>第2四半期 | 2018年12月期<br>第2四半期 | 増減率      |
|----------------------|--------------------|--------------------|----------|
| 売上高                  | 14,516             | <b>15,728</b>      | 8.3%     |
| 売上原価                 | 10,906             | <b>11,767</b>      | 7.9%     |
| 売上総利益                | 3,609              | <b>3,961</b>       | 9.7%     |
| 販管費                  | 2,175              | <b>2,322</b>       | 6.7%     |
| ○売上高販管費率             | 15.0%              | 14.8%              | -0.2%    |
| 営業利益                 | 1,433              | <b>1,638</b>       | 14.2%    |
| ○売上高営業利益率            | 9.9%               | <b>10.4%</b>       | 0.5%     |
| 営業外収益                | 52                 | <b>62</b>          | 18.1%    |
| 営業外費用                | 48                 | <b>39</b>          | -18.7%   |
| 経常利益                 | 1,438              | <b>1,661</b>       | 15.5%    |
| 特別利益                 | 0                  | <b>200</b>         | 39708.4% |
| 特別損失                 | 63                 | <b>17</b>          | -72.7%   |
| 税引前四半期純利益            | 1,374              | <b>1,844</b>       | 34.1%    |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 907                | <b>1,245</b>       | 37.2%    |
| ○売上高四半期純利益率          | 6.2%               | 7.9%               | 1.7%     |

## 主な売上・利益増加要因

- ①高稼働率の維持
- ②単価の上昇
- ③稼働人数の増加

<一過性：個別>

・特別利益 寄付金収入 2 億円

## 主なコスト増加要因

<持続性：個別>

- ①社員数増加、  
処遇向上による原価増

⇒社員定着率向上のため

<一過性：個別・連結>

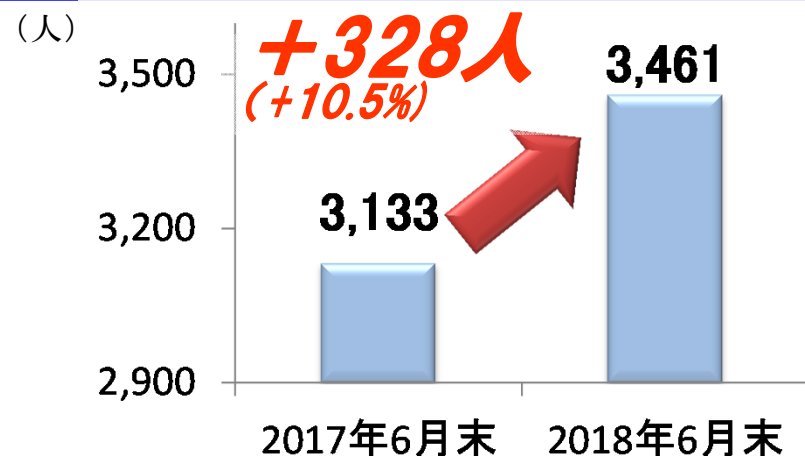
- ①広告宣伝費の増加

⇒当社の魅力発信のため

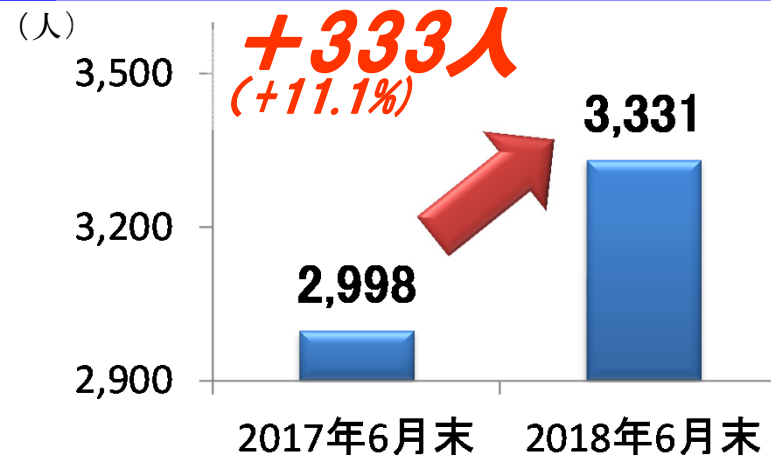
- ②50周年関連費用（車椅子  
寄贈等）に伴うもの

# 働き方改革影響で工数減少/人数・単価は伸び

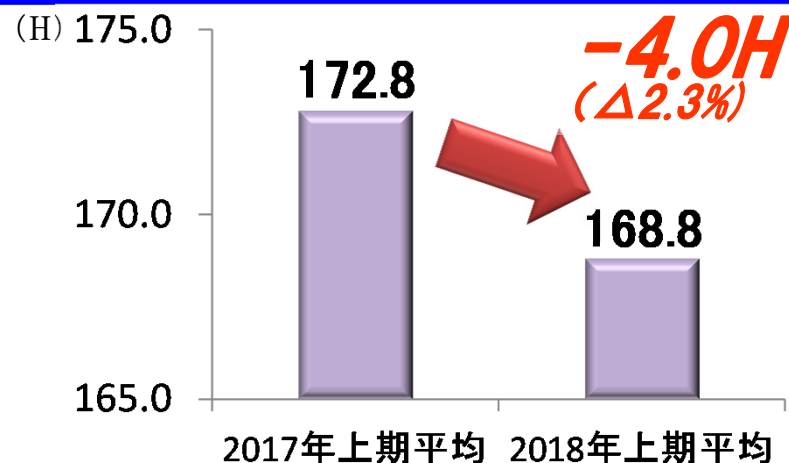
## 技術社員数 ※2018年6月末時点



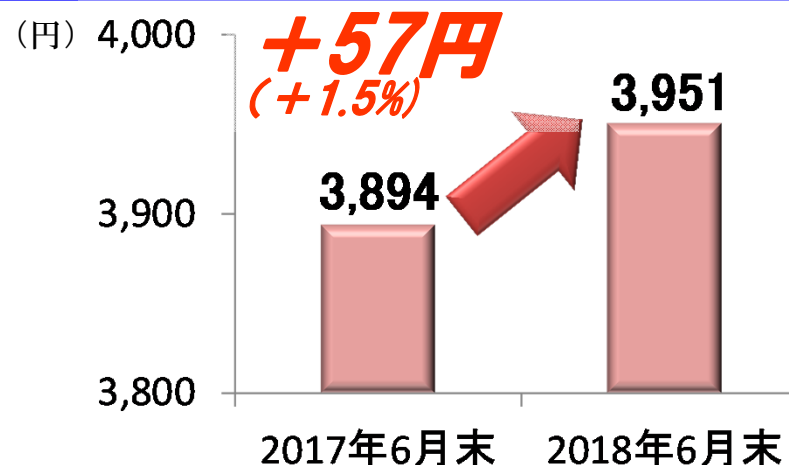
## 稼働人数 ※2018年6月末時点



## 稼働工数 ※2018年度 2Q平均(1-6月)



## 契約単価 ※2018年6月末時点



※契約単価…顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」と異なり、残業代を含まない。  
※稼働工数…技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。



# ■ 稼働工数動向と営業について

## 外部環境の変化

- ・働き方改革で残業△、法律で残業時間や有休取得日数の要件が厳格化
- ・残業規制が優良派遣事業者認定の要件に追加

## 顧客動向の変化

- ・大手顧客中心に工数高止りの企業で削減の動きが顕著  
⇒当社の平均稼働工数△に影響



## 当社の対応

1. 営業戦略のシフト  
一人当たりの工数△を人数増+単価UPでカバー

工数  
△



人数増  
単価UP

2. 顧客毎の工数分析で繁閑を見極め、成長分野・領域の案件獲得

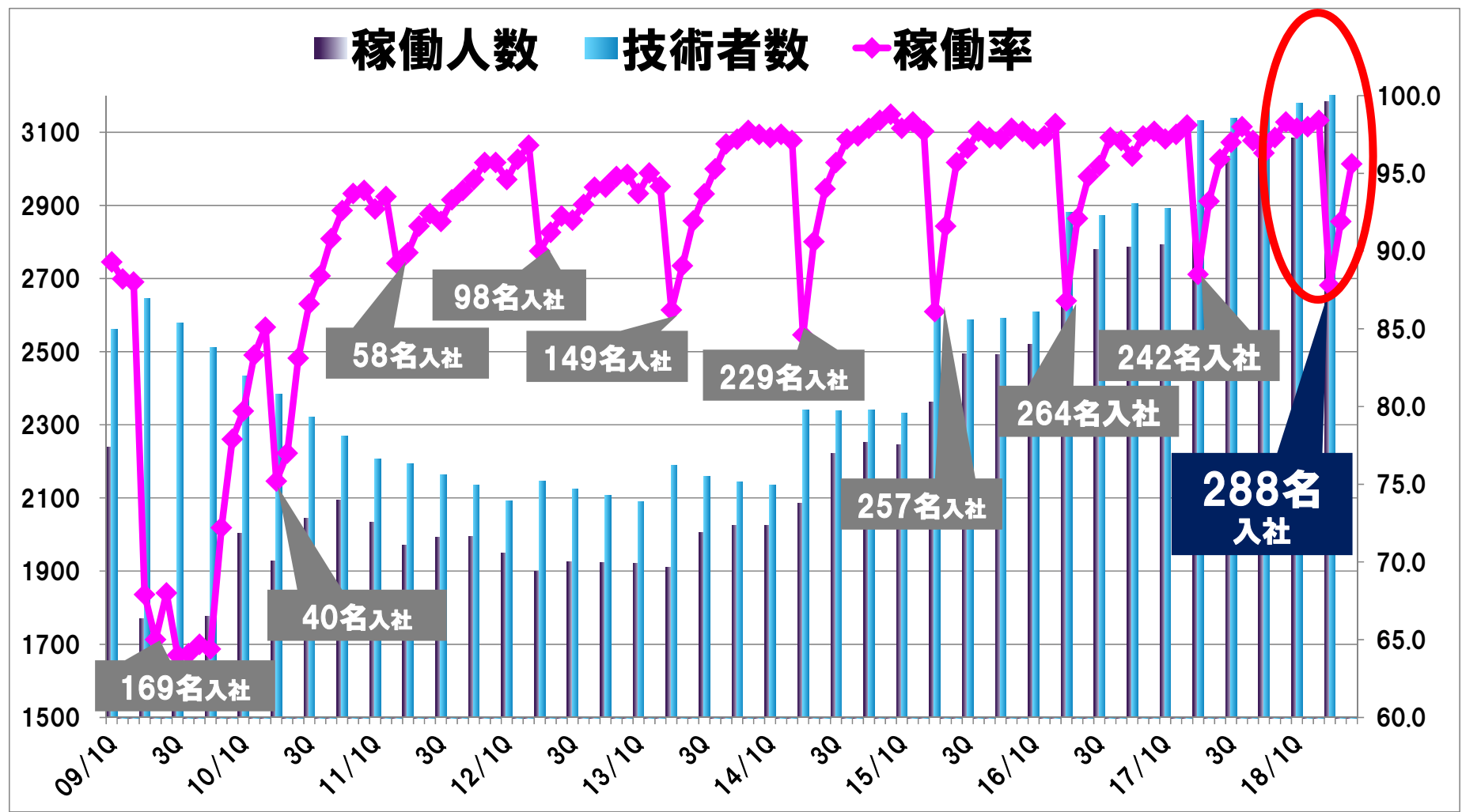
## 今後の予想

- ・工数△の影響は続く  
(工数高止り企業で削減の動きが進展)
- ・但し所定労働時間(月約160時間)を下回る下落は考えにくい

# 新卒早期稼働が進展 (採用数増加に伴い前期に比べ2Q稼働率押下げ)

(単位:人)

(単位:%)

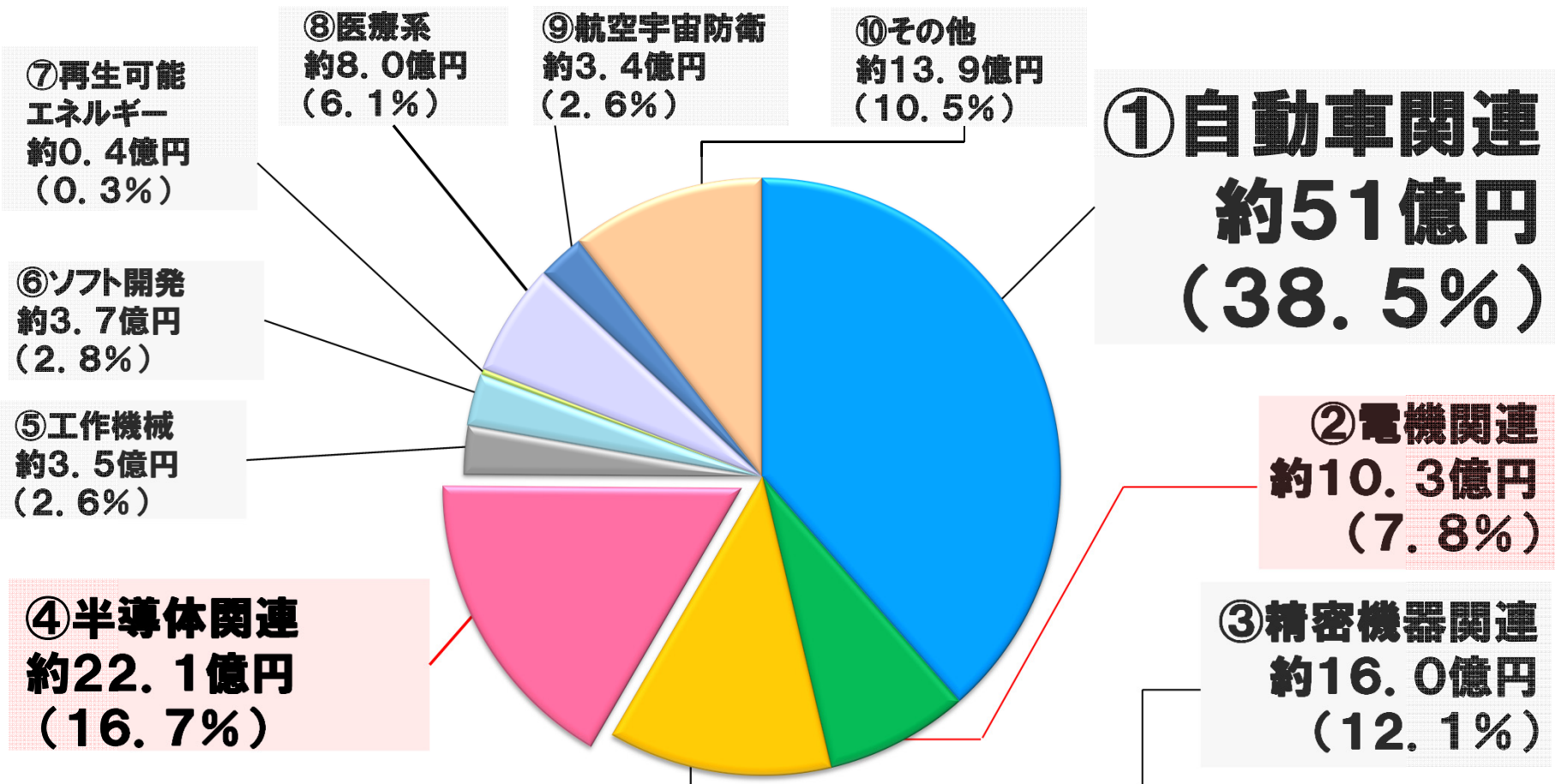


※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数(人) ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数(人) ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率(%)  
 グラフ内入社者数…4月入社の新卒技術者数(キャリア採用・秋入社のグローバルエンジニアは含まない)



- ・ 引続き自動車/電機/半導体が好調
- ・ その他（信号/インフラ等）が増加

## 業種別売上高 (2018年 第2四半期)



※上記グラフは最終製品に紐付く分類。【例】技術分野:電機、最終製品:EVの場合⇒「①自動車関連」に分類

# 自動車、半導体関連の需要が堅調

## 売上上位10社

| 2016年度 通期     | 2017年度 通期               | 2018年度 第2四半期            |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 東芝            | 三菱電機                    | 三菱電機                    |
| 三菱電機          | 東芝メモリ                   | 東芝メモリ                   |
| キヤノン          | キヤノン                    | 東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ |
| デンソーテクノ       | 東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ | ソニーセミコンダクタ              |
| ソニーセミコンダクタ    | ソニーセミコンダクタ              | アイシン・エイ・ダブリュ            |
| 日野自動車         | アイシン・エイ・ダブリュ            | キヤノン                    |
| ソニーLSIデザイン    | 日野自動車                   | 日野自動車                   |
| 三菱重工業         | 三菱重工業                   | 東京エレクトロン宮城              |
| 富士通テン         | ソニーLSIデザイン              | 日立オートモティブシステムズ          |
| アイシン・エイ・ダブリュ  | デンソーテン                  | オートリブ                   |
| 上位10社比率 22.7% | 上位10社比率 19.4%           | 上位10社比率 19.9%           |

※東芝グループの表記・・・2017年4月以降は分社化に伴い、東芝様、東芝メモリ様の2社に分けて表示

# ■ 2018年 次世代を創る施策(個別)

## 成長を支える3本柱[採用・教育・営業]の好循環

### 1. 採用

- ①重点校との長期的信頼関係確立
- ②技術者やグループ内連携による採用強化
- ③グローバルエンジニア採用・育成スキーム拡大

#### 達成目標

- ・'19新卒250名採用
- ・'18キャリア120名採用

### 2. 教育

- ①50年で培った独自教育ノウハウを活かした教育研修の実施
- ②成長産業参入に向けた研修実施

- ・教育研修強化、再編
- ・成長産業のカスタマイズ研修実施

### 3. 営業

- ①成長産業分野への重点営業
- ②CS向上に向けたグループ営業の強化
- ③技術者自らの成長を実現するローテーション

- ・成長産業の取引拡大
- ・グループ営業仕組構築

# ■2018年度 通期施策(グループ)

## グループ連携を一層強化

①採用・育成強化、②事業領域拡大

### 国内事業

アルプスビジネスサービス  
人員増強・事業拡大  
教育整備・処遇改善

パナR&D  
受託部門強化  
基盤環境の整備

チ  
ー  
ム  
ア  
ル  
プ  
ス

### 海外事業

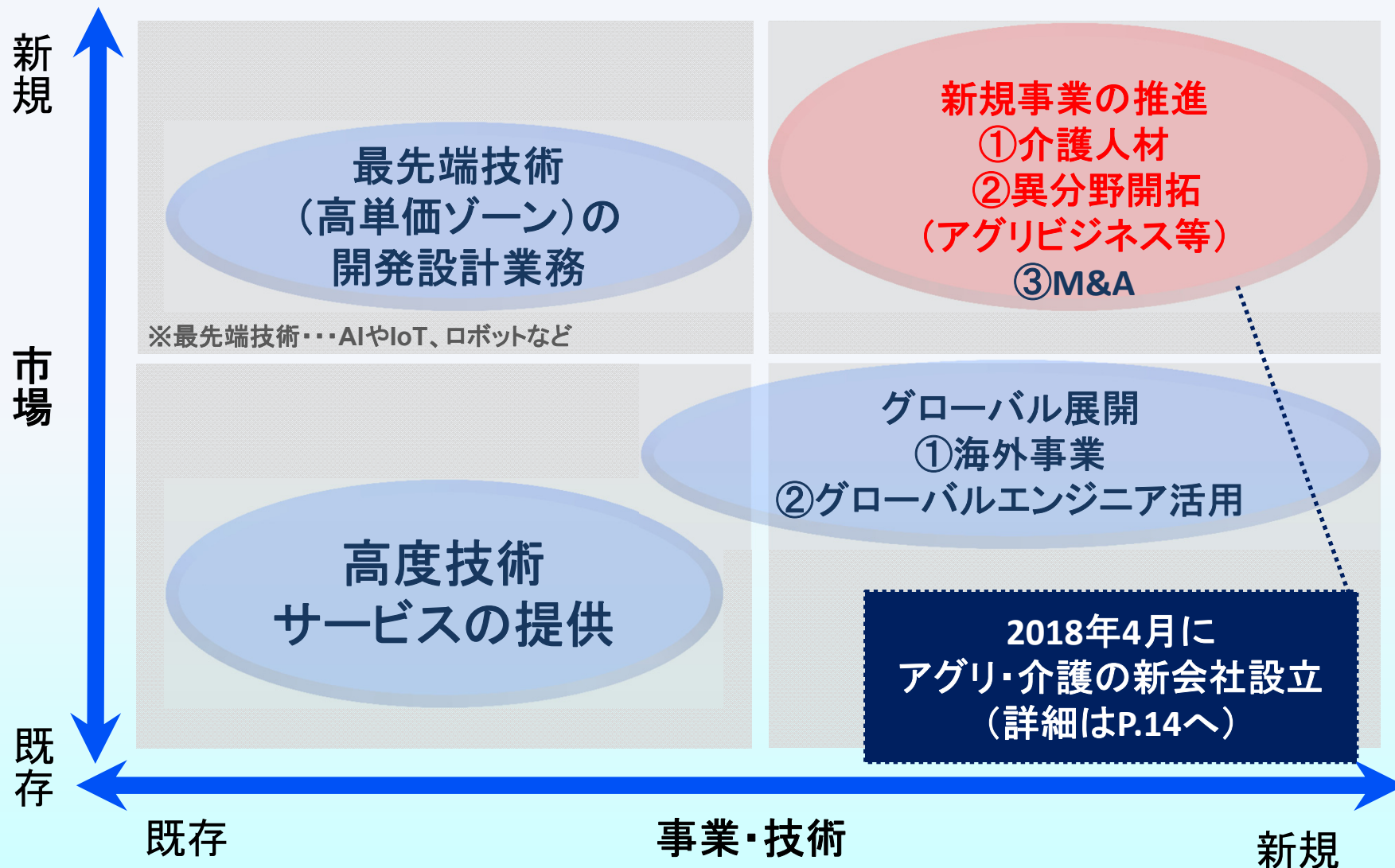
台湾・上海・ミャンマー  
既存事業拡大  
新規ビジネス創出

日本国内のグローバル人材受入  
グローバルエンジニア  
採用ルート拡大

＜新会社＞アグリ&ケア（2018年4月設立）  
外国人材を活用した新事業の創出  
アグリ・アグリテック分野のシジ-活かし先行者利益追求

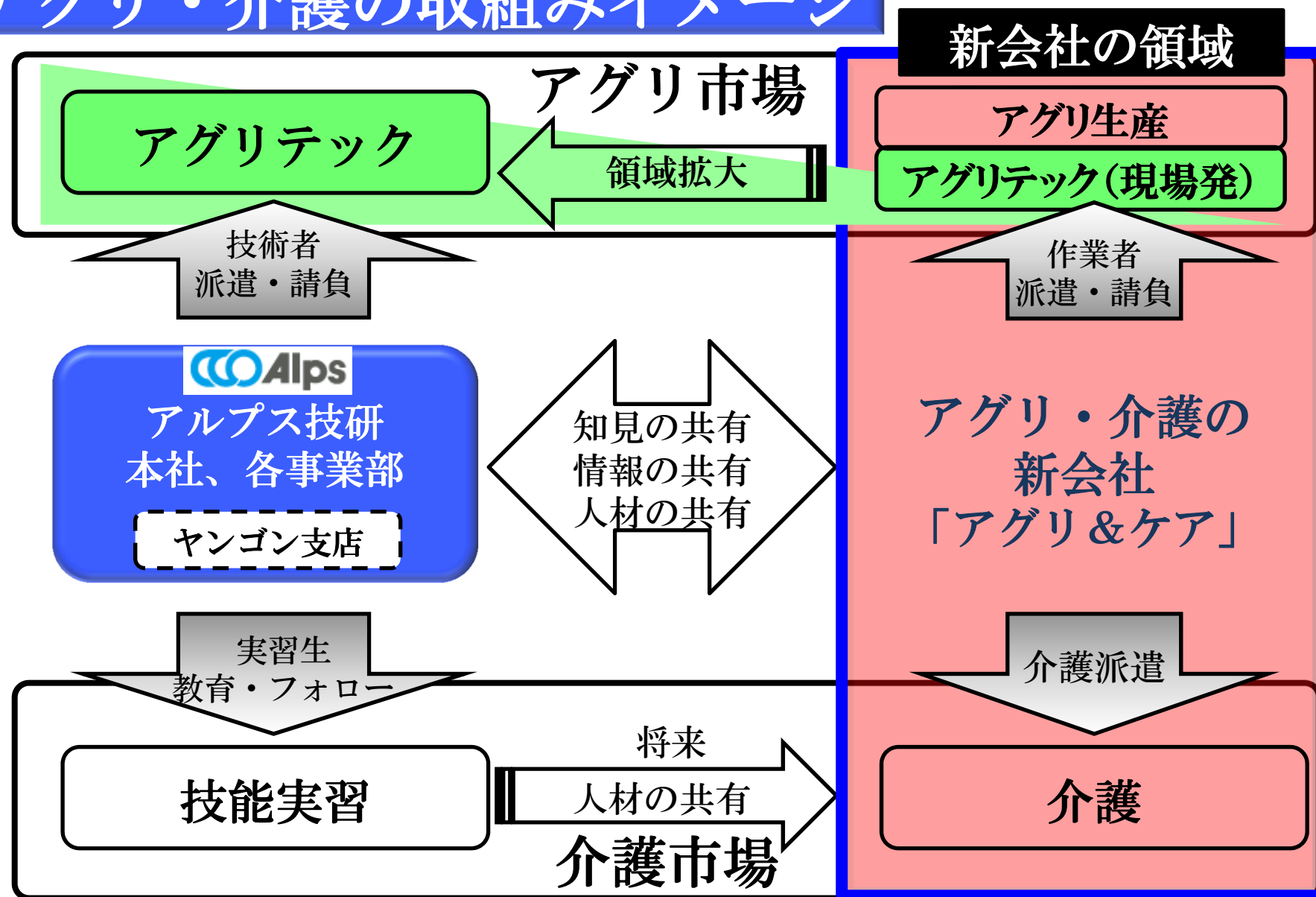
# ■ 中長期成長ビジョン

## 既存事業の強化・新規事業への挑戦



# ■4月2日付で新会社設立

## アグリ・介護の取組みイメージ





# 業績予想

連結：最高業績更新へ

(単位：百万円)

| 【連結】                | 実績     |                 |        |       |       | 業績予想     |       |
|---------------------|--------|-----------------|--------|-------|-------|----------|-------|
|                     | 17年度通期 | 2018年度上期        |        |       |       | 2018年度通期 |       |
|                     | 実績     | 期初予想<br>(18年2月) | 実績     | 前年同期比 | 期初予想比 | 金額       | 前年同期比 |
| 売上高                 | 30,260 | 15,600          | 15,728 | 8.3%  | 0.8%  | 32,400   | 7.1%  |
| 営業利益                | 3,238  | 1,470           | 1,638  | 14.2% | 11.4% | 3,430    | 5.9%  |
| 経常利益                | 3,275  | 1,510           | 1,661  | 15.5% | 10.0% | 3,510    | 7.2%  |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 2,367  | 1,000           | 1,245  | 37.2% | 24.5% | 2,370    | 0.1%  |

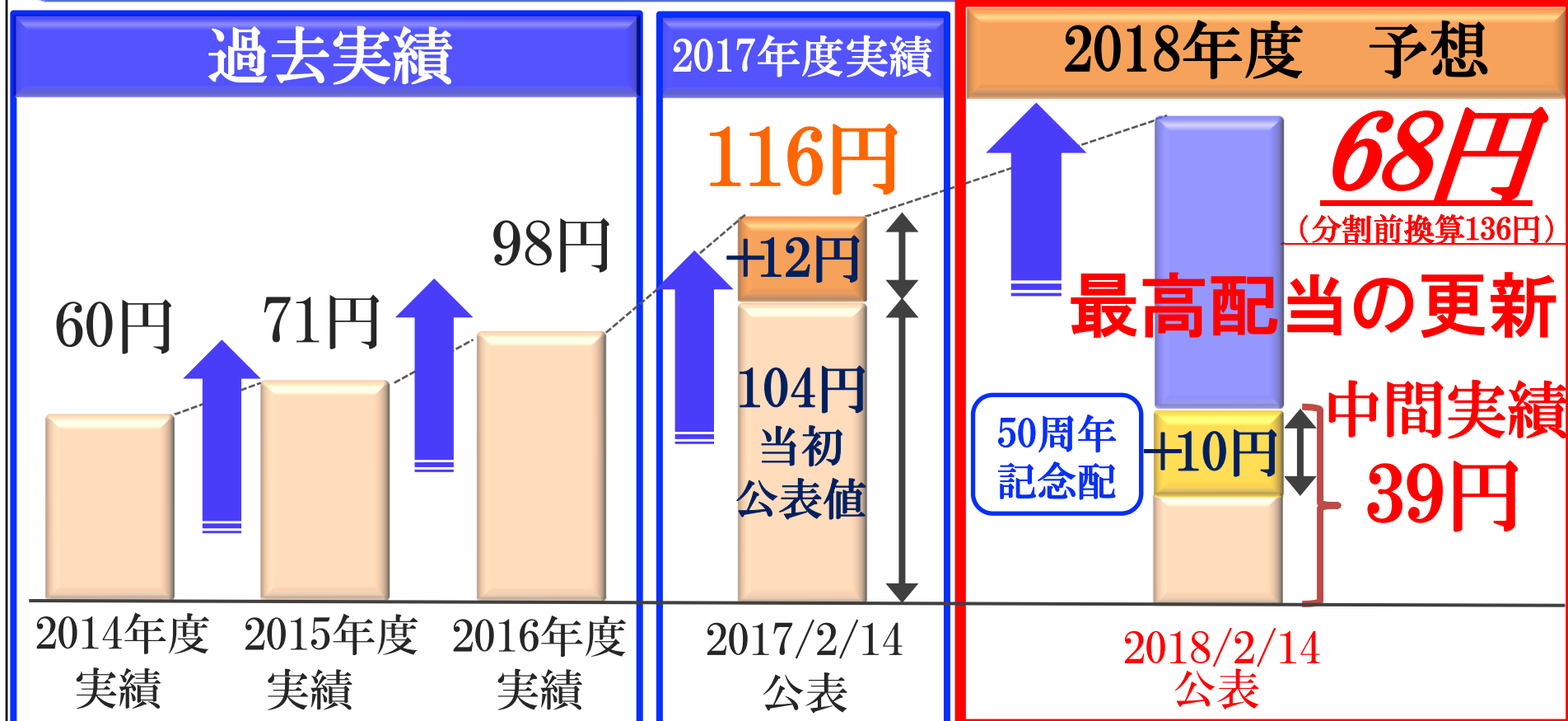
| 【個別】  | 実績     |                 |        |       |       | 業績予想     |       |
|-------|--------|-----------------|--------|-------|-------|----------|-------|
|       | 17年度通期 | 2018年度上期        |        |       |       | 2018年度通期 |       |
|       | 実績     | 期初予想<br>(18年2月) | 実績     | 前年同期比 | 期初予想比 | 金額       | 前年同期比 |
| 売上高   | 25,049 | 13,100          | 13,232 | 8.8%  | 1.0%  | 26,800   | 7.0%  |
| 営業利益  | 2,894  | 1,390           | 1,480  | 11.7% | 6.5%  | 3,010    | 4.0%  |
| 経常利益  | 3,137  | 1,560           | 1,653  | 11.6% | 6.0%  | 3,240    | 3.3%  |
| 当期純利益 | 2,363  | 1,080           | 1,295  | 27.8% | 19.9% | 2,230    | -5.6% |

●個別利益予想：一過性要因（50周年費用増）により当期純利益はマイナス予想だが、本業は好調に推移する見込み。

# ■ 配当予想 (2018年度年間配当金)

## 【配当の基本方針】

- ・ 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・ 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・ 業績にかかわらず年間配当10円を維持する (安定配当の見地)

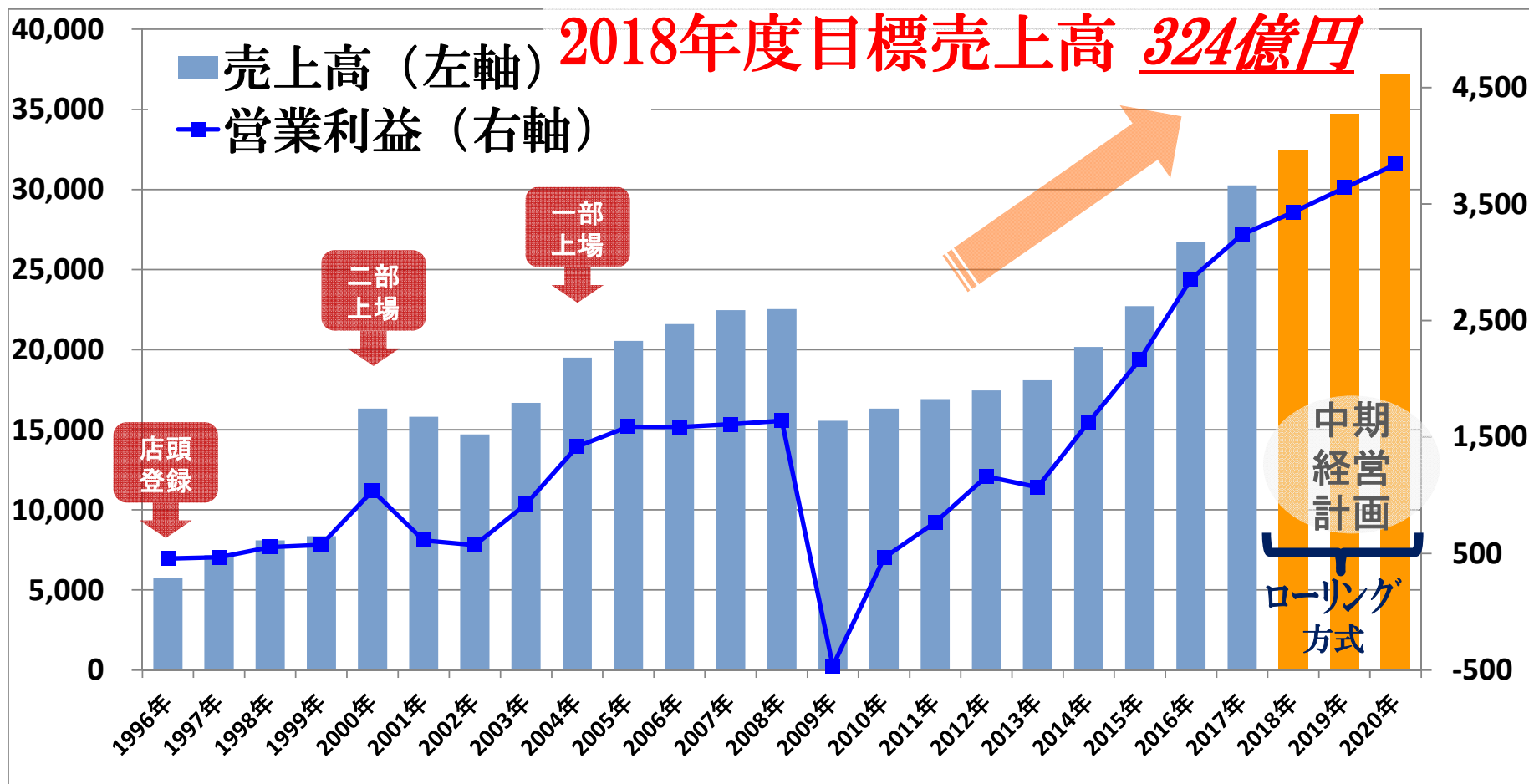


①2017年度実績・・・2017年公表値に12円上乘せ ② 2018年度予想・・・創業50周年記念配10円を含む。

# 業績推移

増収・増益

## 第2創業期の礎作り着実に成長を達成



【備考】 ①1996年～1999年は個別業績 ②2000年以降は連結業績

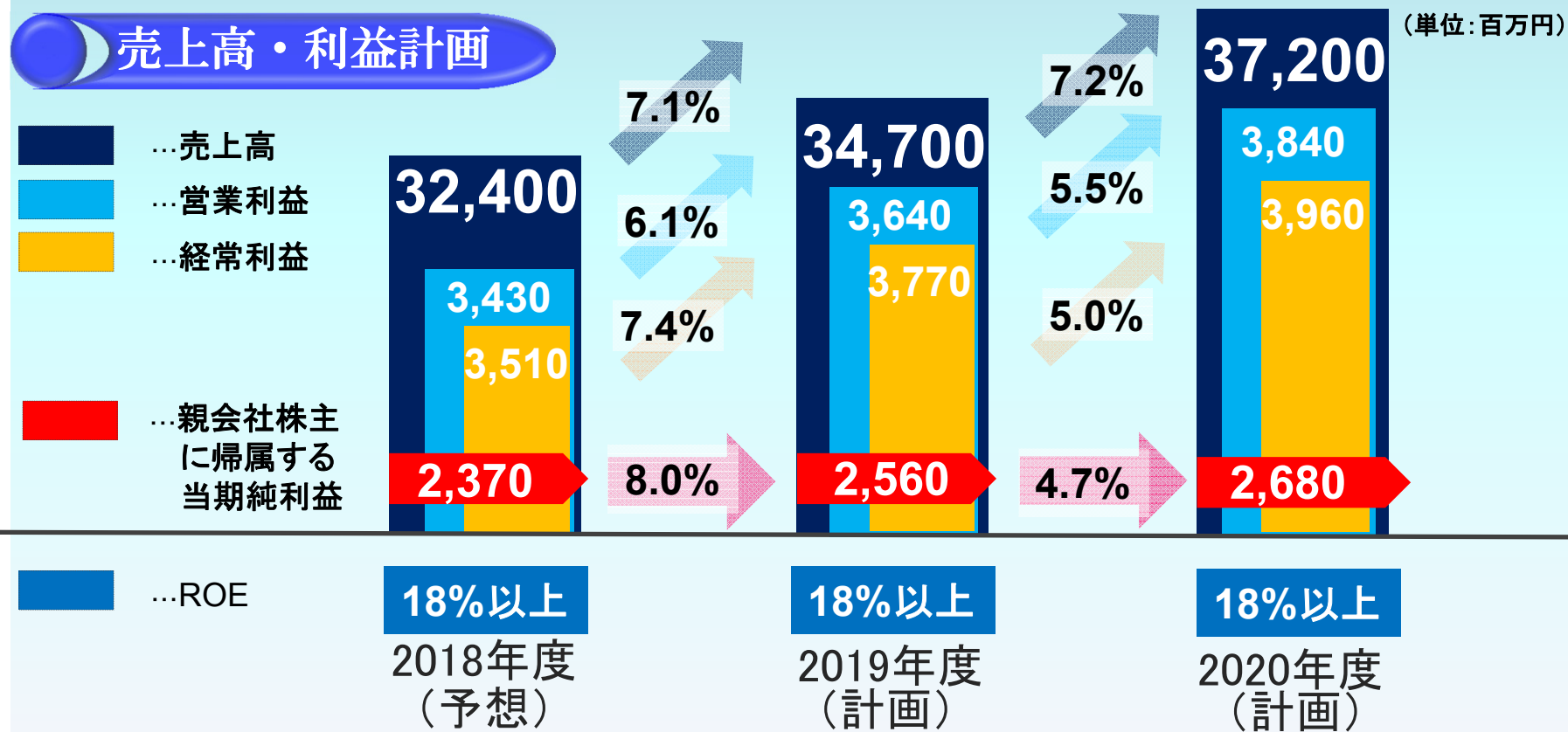
単位：百万円

# ■ 中期経営計画 (連結) ※定性目標更新

## 第11次5カ年計画 (2023年までにありたい姿)

定性目標: 新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

3カ年毎のローリングプランを策定⇒持続的なイノベーション



※2018年4月設立の新会社「(株)アグリ&ケア」の業績は含んでいない。

# ■ 中期経営計画 (連結) ※定性目標更新

## 各施策と主な内容

1

アウトソーシング  
市場における  
持続可能な競争  
優位性の創出

### ■内容

- ①ドメイン再構築による  
売上拡大と収益力向上
- ②グループ連携による多様な  
採用活動の拡大
- ③グローバル人材の雇用拡大  
・育成強化
- ④他社と差別化された  
企業ブランディング実行

2

投資の拡大による  
成長の加速と  
収益基盤の強化

### ■内容

- ①農業・介護分野における  
新たな市場創出
- ②次世代技術を軸とした  
資本・業務提携推進

3

事業環境の変化  
に対応した  
人材育成と組織  
の最適化

### ■内容

- ①ITシステム投資にて  
高水準の業務効率実現
- ②シニアや女性、障がい者  
が活躍する環境整備
- ③技術と経営視点を持った  
未来志向の人材育成

【備考】定性目標は第11次5ヵ年計画に基づき内容更新

Copyright © 2018 Altech Corporation All Rights Reserved



# 創業50周年記念事業（2017年下期以降） ～第2創業期スタート①～

## 1 株主化運動推進

●譲渡制限付株式報酬制度の導入、全社員株主化運動を推進し、業績貢献や経営に対する参画意識の向上を図る

## 2 第2ビル建設

●第2創業期のシンボル「アルプス技研第2ビル」から新規分野への参入開始

【所在地】神奈川県相模原市緑区西橋本  
【竣工予定】2018年9月末

＜次世代の強みを“第2ビル”から発信＞



## 3 記念事業

●周年映像、特設HP、保養所別棟新設、優秀社員表彰実施、公式キャラクターなど



▲公式キャラクター  
アルスくん

## 4 車椅子寄贈

●2017年～2018年全国各地の縁の深い自治体や福祉協議会等に頑丈な車椅子約450台を寄贈



# 創業50周年記念事業（2017年下期以降） ～第2創業期スタート②～

## 5 社員・家族の健康維持 社会貢献

●社員・家族の健康維持や  
予防強化、子育て・介護支援  
の質の向上、社会貢献活動

## 6 未来人材育成

●将来を担う人材の育成を  
更に強化し”未来人材育成塾”  
の創設、ミドル人材育成推進

## 7 第2創業期の取組みを推進し、 次世代に向けた強みを創出

新規事業  
推進

採用強化

海外  
ビジネス  
創出

広告宣伝  
強化

# 創業50周年記念事業 社員間交流イベント促進し定着率向上

## ⑧ 全国の社員が集う既存イベントの拡充・新展開

●将来を担う子供や地域にも、エンジニアや当社の魅力を発信！

### 50周年記念大会

#### ロボットコンテスト

- ①一般公開に向け準備
- ②子供向け化学実験室開催
- ③世界ロボット競技会出場チームによるエキシビジョン開催

#### アルプスカップ

- ①従来の地方予選から全営業所参加予選へ
- ②全国のチームが集い社員同志の団結力強化



＜チーム団結の瞬間＞



50周年記念Tシャツを着たマラソン参加者

＜石垣島マラソン  
(2018/1/28) in 石垣市＞



＜フードバレーとかちマラソン  
(2017/10/29) in 帯広市＞

## ⑨ 社員旅行の実施

●社員間コミュニケーションの充実を図るべく  
全社員参加型の  
社員旅行を企画

# アルプス技研は、 引き続き積極的に 株主還元の充実を 図ってまいります。



## 【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的风险や不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。

人が未来—Next Technology Frontier®  
**Alps** 株式会社アルプス技研